

試料・情報利用研究計画書（概要）

審査委員会 受付番号	2021-2004	利用 形態	内部研究	利用する 試料・情 報	対象：地域住民コホート調査宮城県参加者 約3.7万人 試料：なし 情報：基本情報、調査票情報、ゲノム配列情報（SNPア レイ情報）	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担研究機関	—	
研究題目	変形性関節症の国際ゲノムワイド関連メタ解析			研究期間	2021年7月～2022年3月	
実施責任者	田宮 元	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	教授
研究目的と意 義	<p>変形性関節症は、加齢に伴い関節の軟骨が変性あるいは摩耗して痛みを生じる疾患です。日本だけでも約1,000万人の患者がいるとされています。超高齢化社会を迎えている我が国において、重要視されるべき疾患の一つです。本研究では、東北大学東北メディカル・メガバンク機構のデータから調査票の「変形性膝関節症」の既往歴のデータを利用して、発症リスクに関わる遺伝的バリエーションを網羅的に解析するゲノムワイド関連解析（GWAS）を行います。</p>					
研究計画概要	<p>本研究は、東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に参加された方のうち、調査票情報とゲノム情報を用いて GWAS を実施し、変形性膝関節症と各遺伝的バリエーションの関連を統計学的に解析します。GWAS により得られた要約統計量を国際研究団体に提供し、東北メディカル・メガバンク計画の公開データベース jMorp においても要約統計量を公開します。</p>					
期待される成 果	<p>解析結果のうち、個人情報を含まない統計情報（要約統計量）を、ドイツのミュンヘンヘルムホルツセンターが立ち上げた変形性関節症の国際研究団体（Genetics of Osteoarthritis (GO) コンソーシアム、研究責任者の氏名等：Helmholtz Zentrum Munchen, Professor Eleftheria Zeggini）に提供します。国際研究団体では、複数の研究機関からそれらの統計情報を収集して統合解析を行うことにより、変形性関節症の発症リスク予測を行うための基盤を構築します。</p>					
これまでの倫 理審査等の経 過	2021年7月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認					
倫理面、セキュ リティー面への 配慮	<p>情報の取得・GWAS は東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータ内で実施します。研究結果の公開及び国際研究団体への提供は、要約統計量のみで行われ、個人ごとの結果は公開及び提供しません。</p>					
その他特記事 項	東北メディカル・メガバンク事業					
* 公開日	令和3年8月19日					